

コントロールに関する規則

付則) コントロール位置説明仕様 (JSCD2008)

国際オリエンテーリング大会						
M45, M50, W21						
5		6.5 km			160 m	
▷			/	/	Y	
1	101		↗	↻		⊥
2	212	↖	▲		1.0	○●
3	135		⊗	⊗		≡
4	246		⊖			⊙
5	164	→	□			♀
○----- 120 m ----->						
6	185		/			<
7	178		○			⊖
8	147	≡	≡		2.0	
9	149		/	/	X	
○----- 250 m ----->⊙						

公益社団法人日本オリエンテーリング協会地図委員会

2008

(公社)日本オリエンテーリング協会 地図委員会

尾上俊雄(委員長)、田中徹(編)、羽鳥和重、中村弘太郎、高島和宏

コントロールに関する規則

1. 目的

- 1.1 この規則は、国際オリエンテーリング連盟（以下、IOF という）が定める規則に基づき、公益社団法人日本オリエンテーリング協会（以下、JOA という）が国内で開催するオリエンテーリング競技会におけるコントロールの設置およびコントロールの位置説明について定めたものである。

2. コントロール

- 2.1 コントロールとはオリエンテーリングにおいて、コース設置者が地図上に表記する競技者が通過するための地点で、地表上においてはコントロールフラッグによって表示される。地図上ではその位置を中心とした直径 6mm の円で示される。

3. コントロール位置

- 3.1 コントロール位置は、地図と地表上の双方に認められる特徴物あるいは特徴部でなければならない。地表上で認められても地図に表記されていない場合、あるいは特徴物あるいは特徴部の存在しないところにコントロールを設置してはならない。
- 3.2 特徴物とは、地図上において小さなこぶ、岩、石、穴など主として点状の記号で表記されるもの、道、川、植生界など線状の記号で表記されるもの、湿地、開けた土地など地表の状態によるもの、建物などの人工特徴物等をいう。特徴部とは、尾根、沢など地形が形成され等高線で表現される部分をいう。

4. コントロールの設置

- 4.1 コントロールの設置は、日本オリエンテーリング競技規則（以下、競技規則という）16.1,16.2,16.3,16.4,16.5,16.6,16.7 に従わなければならない。
- 4.2 それぞれコントロールには、競技者が通過を証明するためのパンチ器具を備え付ける。パンチ器具は、競技規則 17.1 で示すピンパンチ式の器具または電子式のパンチ計時システムとする。

5. コントロール位置説明仕様（JSCD2008）

- 5.1 コントロール位置説明は、IOF が定めたコントロール位置説明国際図式（International Specification for Control Descriptions : ISCD）を基本として、国内の競技会において適用する記号を加えた別表に示す方法により作成しなければならない。

- 5.2 コントロール位置説明を地図の誤りの修正のために使ってはならない。
- 5.3 コントロール位置説明の枠は1辺の長さが5から7mmの正方形とする
- 5.4 コントロールに近接して類似の特徴物がある場合（地図上に表記されたコントロール位置を示す円の内部に含まれる場合）、その相対的な位置関係を記号により8方位（北、北東、東、南東、南、南西、西、北西）で表示する。また類似の特徴物との位置が上下あるいはまん中の場合、その位置関係を表示する。
- 5.5 コントロールを設置する特徴物をより詳しく説明する必要がある場合、その形状や寸法を、また地図では示されていない植物の茂っている・湿地状・岩状などの状態を表記することができる。
- 5.6 コントロールを特徴物の部分や周辺に設置する場合、その特徴物の、または特徴物からの位置を記号により8方位で表示する。また位置（内側、外側、頂上、根元等）を記号で表記する。
- 5.7 線状特徴物は記号を組合せて表記することができる。
- 5.8 その他の情報（救護、給水、有人等）を記号で表記することができる。
- 5.9 コントロール位置説明には以下の情報を含むものとする。
- ・ 大会名称（表記は任意）
 - ・ コース番号（表記は任意）
 - ・ クラス名・コース距離・登高
 - ・ コントロール位置（スタート位置を含む）
 - ・ 誘導区間の長さ（フィニッシュへの誘導方法を含む）
- 5.10 コース距離は0.1 km単位とし、小数点第二桁を四捨五入して表記する。
- 5.11 登高は近位の5 m単位で表記する。
- 5.12 コントロール位置説明の各欄の区分は以下のとおりとする。（左からA～H欄）
- A欄: コントロール番号 <通過指定順番> コントロール番号は通過指定の順番に配列する。フリー競技ではコントロール番号の表記を行わない
- B欄: コントロール識別番号 <競技規則 16.6> 31番以上の2桁、3桁の数字
- C欄: 類似の特徴物との相対位置 (5.4)
- D欄: 特徴物・特徴部 コントロール位置である地図上に示された特徴物または特徴部。
- E欄: 特徴物の状態 (5.5)
- F欄: 特徴物の寸法 <特徴物の大きさ・高さ等> (5.5)
- G欄: コントロールフラッグの位置 (5.6)
- H欄: その他の情報 <救護、給水、無線、有人等> (5.8)
- 5.13 コース中の誘導区間など特定の指示情報は、当該のコントロール間に挿入して表記する。

- 5.14 コントロール位置の水平の枠線は 3 本毎に太く表記する。特定の指示情報は上下ともに太く表記する。
- 5.15 初心者や中級者用に、コントロール位置説明の日本語による記載あるいは併記をすることができる。この場合、記号による表示と同じ様式で記載することが好ましい。
- 5.16 コントロール位置説明の例示

国際オリエンテーリング大会			
M45, M50, W21			
5		6.5 km	160 m
▷		/ / \	
1	101	↗ ↘	↙
2	212	↖ ▲	1.0 ○
3	135	⊗ ⊗	≡
4	246	○	○
5	164	→ □	♀
○ --- 120 m --- →			
6	185	/	<
7	178	○	○
8	147	≡ □	2.0
9	149	/ / X	
○ --- 250 m --- → ⊗			

大会名称（記載は任意）		
クラス名：M45, M50, W21		
コース番号：5	距離：6.5km	登高：160m
スタート		道路と小道の分岐
1	101	壊れた柵、南東の角(外側)
2	212	北西の岩、高さ 1.0m 東側
3	135	藪(やぶ)の間
4	246	まん中の凹地、西の部分
5	164	東の建物跡、南側
コントロールから誘導 120m		
6	185	小道の曲がり
7	178	こぶ、北西の根元
8	147	上の岩がけ、高さ 2.0m
9	149	小道の交点
最終コントロールからフィニッシュへ誘導 250m		

6. 付 則






この規則は、平成 20 年 3 月 2 日から施行する。

本規則の施行に伴い、コントロール位置説明作成規程は廃止する。

平成 20 年 3 月 2 日制定
平成 25 年 1 月 12 日修正





別 表













C欄 類似の特徴物との相対位置

JSCD	記号	名称	定義
0.1		北の	ふたつのあるいはそれ以上ある類似の特徴物のうち最も北にある
0.2		南東の	ふたつのあるいはそれ以上ある類似の特徴物のうち最も南東にある
0.3		上の	類似の特徴物の上にある
0.4		下の	類似の特徴物の下にある
0.5		まん中の	類似の特徴物のうちまん中にある







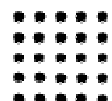


D欄 コントロールの特徴物

地形 (JSOM 4.1, JSSOM 4.1)

JSCD	記号	名称	定義	JSOM	JSSOM
1.1		テラス	傾斜面にある水平な地形部分	101 102 103	101 102 103
1.2		尾根	地形上の突起部または周辺の地表から隆起している部分	101 102 103	101 102 103
1.3		沢	地形上の陥入部、谷、沢	101 102 103	101 102 103
1.4		土がけ	周辺の地形から明らかに見分けることのできる地表の急斜面	106	106

JSCD	記号	名称	定義	JSOM	JSSOM
1.5		採石場	砂利、砂、岩石などの採取場	106 201	106 201
1.6		土塁・堤防	周辺の地表よりも高く幅の狭い土塁。一部分が岩石で覆われている場合もある 一般的に人工物である 壊れた土塁は 8.11 を併用する	107 108	108.1
1.7		きれつ	通常は乾いているきれつやみぞ	109	109
1.8		小さなきれつ	通常は乾いている小さなきれつやみぞ	110	110
1.9		こぶ	地表の高い部分。地図上では等高線により表記されている	111	101 102 103
1.10		小さなこぶ	小さくて明瞭な地表の高まり。岩石でできた小さなこぶは 8.6 を併用する	112 113	112 113
1.11		鞍(あん)部	ふたつの高い地点の間にある低い地点	101 102 103 111	101 102 103
1.12		凹地	地表面が周囲より低くなっている凹地やくぼみ。地図上では等高線により表記されている	114	101 102 103 104
1.13		小凹地	地表面が周囲より低くなっている自然に形成された小さくて浅く明瞭な凹地やくぼみ	115	115
1.14		穴	明瞭に落ち込んでいるくぼみや穴。一般的に人工である。岩穴を表わす場合は 8.6 を併用する	116 204	116 204
1.15		凹凸地	個別に表示することができない複雑なあるいは小さな穴やこぶのある場所。動物の巣穴を含む	117	117
1.16		アリ塚	アリやシロアリの形成した塚	(118)	(118)


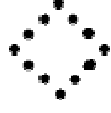

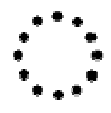






岩と石 (JSOM 4.2, JSSOM 4.2)

JSCD	記号	名称	定義	JSOM	JSSOM
2.1		岩がけ 岩壁	通過可能または通過不能な岩がけや 岩壁	201 203	201 203 519.1 521.1
2.2		柱状の岩	天然の高い岩の突起	202	202
2.3		横穴	岩壁や斜面にある穴	205	205
2.4		岩	独立して目立つ岩や石	206 207	206 207
2.5		岩石地	個々に表記できない多くの岩石で覆 われた区域	208	208
2.6 新規		岩石群	個々に表記できない密集した岩石の 小さく明瞭なかたまり	209	
2.7		礫(れき)地	多数の小さな岩石で覆われた区域	210	210
2.8		露岩	表土や植生のない走行可能な岩が露 出した区域	212	212
2.9		がけの間の 通過部分	向かい合った岩がけや岩壁の間の通 過部分	201 203	201 203

水系と湿地 (JSOM 4.3, JSSOM 4.3)

JSCD	記号	名称	定義	JSOM	JSSOM
3.1		湖	大きな面積を占める水面。通常は通過不能	301	304.1
3.2		池・沼	小さな面積の水面	302	304.1 305.1
3.3		小さな池	水の溜まっている穴または小さな凹地	303	303
3.4		河川・小川・水路	水の流れのある、あるいは流れていない自然のまたは人工的な河川、小川	304 305 306	304.1 305.1 306
3.5 変更		細い水路	途切れとぎれに水のある自然の、または人工の細い水路	307	307
3.6		細い湿地	湿地の記号では細くて地図に表現できない狭い湿地、またはわずかに水の流れる場所	308	308
3.7		湿地	湿性の植生を伴った常に湿った区域	309 310 311	309 310 311
3.8		湿地の中の乾燥地	湿地の中の乾いた部分、またはふたつの湿地の間にある乾いた部分	309 310 311	309 310 311
3.9		井戸	地表で明瞭に見ることができる水坑や囲いのある湧水点。多くは人工の囲いを伴っている	312	312
3.10		湧水点	明確に水が湧き出している小川、水路の源	313	313
3.11 新規		貯水槽・水桶	人工の水槽	(314)	(314)

植生 (JSOM 4.4, JSSOM 4.4)

JSCD	記号	名称	定義	JSOM	JSSOM
4.1		開けた土地	耕作地、芝地、牧草地、広場、空地、砂地などの木の生えていない開けた土地	401 211 415	401 211 415
4.2		半ば開けた土地	まばらに木や藪の点在する開けた土地および伐採地、倒木帯、シダ・笹やヒースなどの生えた荒地	402 403 404	402 403 404
4.3		林の角	開けた区域に入り込んでいる林の角や突端		
4.4		クリアリング	林の中にある木の生えていない小さな区域	401 403	401 403
4.5		藪(やぶ)・植込み	樹木に覆われたり、下生えが密に茂っていて通過することが困難な小さな区域	408 410	408 410 421 419
4.6 変更		線状の藪(やぶ)・線状の植込み	通過することが困難な人工的に植えられた線状の樹木列や藪(やぶ)、植込み	410	410 421
4.7		植生界	異なる種類の樹木や植生の間の特異な境界	416	416
4.8 変更		小さな林	開けた土地の中にある小さな林	405 406	405 406
4.9 変更		独立樹	開けた土地、林の中に生えている異種の、または明瞭な樹木。樹種などの個別情報を付すことがある	418 419 420	418 419
4.10		切り株・木の根	木の切り株。幹のあるまたは幹のない倒木の露出した根	(418) (419) (420)	(420)

人工特徴物 (JSOM 4.5, JSSOM 4.5)

JSCD	記号	名称	定義	JSOM	JSSOM
5.1		道路	砂利やアスファルトで舗装した、または土の道路。通常の天候では自動車の通行に適している	501 502 503 504	529
5.2		道・小道・小径	人が造ったり動物がつけた可視的な小道。険路用の乗り物であれば通行できるものを含む	505 506 507 508	506.1 507 508
5.3		切り開き	森林の中の明瞭な直線状の切れ目で小道を伴っていないもの	509	509
5.4		橋	湖沼、河川や水路、道路や線路などの特徴物上を通過するための構造物	512 513	512.1
5.5		送電線	送電線、電話線、ケーブルやスキーリフト	516 517	516 517
5.6		送電線の支柱・鉄塔	送電線、電話線、ケーブルやスキーリフトなどの支柱	516 517 535	516 517 526.1 535
5.7 新規		トンネル	道路や線路の地下を通過する部分	518	518.1
5.8		石塁	岩石で構築された壁・石塁、または岩石で覆われた堤防	519 520 521	519
5.9		柵	ワイヤー製やパイプまたは木製の柵または手すり、フェンス。壊れた柵は 8.11 を併用する	522 523 524	522 524
5.10 新規		横断地点	壁、柵やフェンス、パイプラインなどで門や踏み台によって通過できる地点	525	525
5.11		建物	レンガや木、石などで作られた屋根のある恒常的な建造物、またはビニールハウス	526 526.5	526.1 526.5
5.12 新規		舗装区域	駐車場などの目的により舗装された区域	529	529

JSCD	記号	名称	定義	JSOM	JSSOM
5.13		建物跡	倒壊した建物の跡	530	
5.14 新規		パイプライン	ガス、水道、石油などの地表にあるパイプライン	533 534	533 534
5.15		塔	金属、木またはレンガなどで作られた高い構造物	535 536	535 536
5.16		射撃台	狩猟や監視に使われている樹木に取り付けられた台座のある構造物	536	536
5.17		境界石・ケルン	人工の石の標識や石の杭、ケルン、記念石、境界石、三角点標識	537	537
5.18		給餌台	動物に給餌するための構造物	538	538
5.19		炭焼き窯跡・炭焼き場	炭焼きに使われた明瞭な跡		
5.20 新規		記念物・彫像	記念碑、彫像など	537	537
5.23 新規		建物の通過できる部分	建物内を通過、通行できる部分、アーケード、天蓋		526.2
5.24 新規		階段	少なくとも2段以上の階段		529.1

特別に定義される特徴物




JSCD	記号	名称	定義	JSOM	JSSOM
6.1	×	(特別な特徴物)	特別に定義して使用される。この記号を使用する場合、競技者に対して競技開始前に定義の説明をしなければならない。		
6.2	○	(特別な特徴物)	特別に定義して使用される。この記号を使用する場合、競技者に対して競技開始前に定義の説明をしなければならない。		

国内ローカル記号として定義された特徴物

日本国内の競技において使用される特徴物を表わす国内ローカル記号を以下に示す。国際的な競技においてローカル記号を使用する場合、全競技者に対してプログラム等を通じあらかじめ周知しなければならない。

JSCD	記号	名称	定義	JSOM	JSSOM
7.1	+	墓地・墓	墓石や墓標のある明瞭な墓、墓地	532	(540)

E欄 特徴物の状態

JSCD	記号	名称	定義
8.1 新規		低い	低いまたは平坦な特徴物に用いる。 例：低いこぶ
8.2		浅い	浅い特徴物に用いる。 例：浅い沢
8.3		深い	深い特徴物に用いる。 例：深い穴
8.4		植物の茂っている	特徴物が地図に表記されていない藪(やぶ)下生えで部分的に覆われている場合に用いる。 例：藪(やぶ)が茂っている廃屋
8.5		開けた	特徴物が周囲の植生に比較して樹木に覆われていないで開けている場合に用いる。 例：開けた湿地
8.6		岩の・岩状の	特徴物が岩石や礫(れき)で形成されている場合に用いる。 例：岩穴
8.7		湿地状の	特徴物が地図に表記されていない湿地状である場合に用いる。 例：湿地状の沢
8.8		砂地状の	特徴物が地図に表記されていない砂地で覆われている場合に用いる。 例：砂地状の尾根、砂地の開けた土地
8.9		針葉樹の	コントロールとなる特徴物に関連する樹木が針葉樹である場合に用いる。 例：針葉樹の独立樹
8.10		広葉樹の	コントロールとなる特徴物に関連する樹木が広葉樹である場合に用いる。 例：広葉樹の小さな林
8.11		倒れた・壊れた	倒れたまたは壊れた特徴物に用いる。 例：壊れた柵

F欄 特徴物の大きさ・高さ、組み合わせ

大きさ・高さ・深さ




JSCD	記号	名称	定義
9.1	2.5	高さ または 深さ	特徴物の高さまたは深さをメートル表記で表わす。
9.2	8×4	大きさ	面状特徴物の面の大きさをメートル表記で表わす。
9.3	0.5 / 3.0	傾斜上の高さ	斜面にある特徴物の高さを、斜面上方側および下方側についてメートル表記で表わす。
9.4	2.0 3.0	ふたつの特徴物の高さ	コントロールのある位置を構成するふたつの特徴物の高さをメートル表記で表わす。

組み合わせ

JSCD	記号	名称	定義
10.1	×	交点	ふたつの線状特徴物の交差する地点
10.2	Y	分岐	ふたつの線状特徴物の分岐する地点


F欄において「交点」10.1 または「分岐」10.2 を用いる場合、交点や分岐を構成する二つの特徴物の双方をD欄とE欄に記載する。以下に使用例を示す。








D欄	E欄	F欄	言語表記(例)	定義
		×	小道の交点	ふたつの類似の線状特徴物が交差する地点
		×	切り開きと水路の交点	ふたつの異なる線状特徴物が交差する地点
		Y	道路の分岐	ふたつの類似の線状特徴物が分岐する地点

D欄	E欄	F欄	言語表記(例)	定義
			小川と細い湿地の分岐	ふたつの異なる線状特徴物の分岐する地点







G欄 コントロールフラッグの位置

注記：コントロールフラッグが特徴物の中央部もしくは可能な限りその近く、あるいは岩がけの場合では根元の中央部に設置される場合、コントロール位置説明においてフラッグの設置位置は記載する必要はない。





JSCD	記号	名称	定義
11.1		北東側	特徴物が地表面よりも上部にある場合に使用する。 例：岩、北東側；廃屋、西側
11.2		南東のふち	a) 特徴物は周辺の地表面よりも低く、コントロールは地表面と同じ水準のふちの部分にある。 例：凹地、南東のふち b) 特徴物は十分な面積を有し、コントロールはその区域のふちの部分にある。 例：湿地、西のふち；クリアリング、北西のふち
11.3		西の部分	特徴物は十分な面積を有し、コントロールは中心でもふちでもない部分にある。 例：湿地、西の部分；凹地、南東の部分
11.4		東の角 (内側)	a) 特徴物のふちが45-135度の角度で折返している。 例：開けた土地、東の角(内側)； 廃屋、北西の角(外側) b) 線状特徴物が角度を持って曲がっている。
11.5		南の角 (外側)	例：柵、南の角(内側)； 石塁、南西の角(外側) この記号の向きは角の方向を示す
11.6		南西の突端	特徴物のふちが45度未満の角度で折返している。 例：湿地、南西の突端
11.7		曲がり	線状特徴物がなめらかに方向を変化させている。 例：小道の曲がり；小川の曲がり
11.8		北西の終わり	線状特徴物の開始または終わる地点。 例：切り開き、北西の終わり；石塁、南の終わり

JSCD	記号	名称	定義
11.9		上の部分・上部	特徴物が2本またはそれ以上の等高線で構成されあるいは跨いでいて、コントロールが最上部に近い部分にある。 例：きれつ、上の部分
11.10		下の部分・下部	特徴物が2本またはそれ以上の等高線で構成されあるいは跨いでいて、コントロールが最下部に近い部分にある。 例：沢、下の部分
11.11		頂上・上	コントロールが特徴物の最も高い地点にある。 例：岩がけの上
11.12 新規		下	コントロールが特徴物の下にある。 例：パイプラインの下
11.13		根元(方向を示さない)	コントロールが特徴物の傾斜部分の下部と周囲の地表の接している部分にある。 例：土がけ、根元
11.14		北東の根元	「根元」11.13と同様であるが、コントロール位置を特定する必要がある場合。 例：こぶ、北東の根元
11.15		間	コントロールがふたつの特徴物の間にある場合。 例：藪(やぶ)の間；岩とこぶの間

「間」11.15 をG欄において使用する場合、「間」を構成する二つの特徴物の双方をD欄とE欄に記載する。以下に使用例を示す。

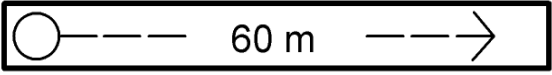
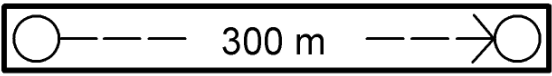
D欄	E欄	F欄	G欄	言語表記(例)	定義
				藪(やぶ)の間	ふたつの類似の特徴物の間
				岩と小さなこぶの間	ふたつの異なる特徴物の間

H欄 その他の情報


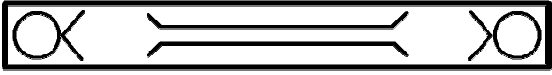
JSCD	記号	名称	定義
12.1		救護	救護所が併設されたコントロール
12.2		給水	給水所が併設されたコントロール
12.3		無線またはTV	無線またはTV撮影のあるコントロール
12.4		有人	コントロールカードの確認をおこなう役員のいるコントロール

特定の指示情報表記

特定の指示情報は、位置説明のなかで競技者に必要な情報を提示するものであり、地図上に表記されている情報の強調のために使用する。
誘導区間が特定のコントロールから、またはコントロール間に設定されている場合、以下の表記をおこなう。

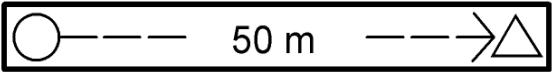
JSCD	記号	名称 / 定義
13.1		コントロールから誘導 60m
13.2 新規		コントロール間の誘導 300m

コントロール間に必ず通らなければならない横断地点または横断部分がある。

JSCD	記号	名称 / 定義
13.3 新規		コントロール間に必ず通らなければならない横断地点がある。
13.4 新規		コントロール間にある立入禁止区域の中に必ず通らなければならない横断部分がある。

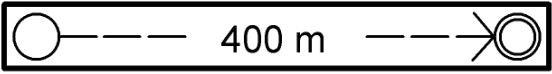
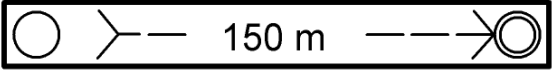
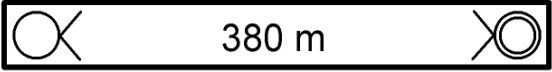
コントロールから地図交換所まで誘導区間がある場合、最初のコースの最終コントロ

ール位置説明に続けて下記の表記をおこなう。

JSCD	記号	名称 / 定義
13.5		地図交換所まで誘導 50m

最終コントロールからフィニッシュへの誘導

コントロール位置説明に連続して、最終コントロールからフィニッシュまでの誘導の状態は以下の表記によって表記する。

JSCD	記号	名称 / 定義
14.1		最終コントロールからフィニッシュまで誘導 400m
14.2		最終コントロールからフィニッシュまで、漏斗状の誘導 150m
14.3		最終コントロールからフィニッシュまで、誘導なし 380m

JSCD2007 (ISCD2004) における ISCD1990 からの改正点について

(公社) 日本オリエンテーリング協会 地図委員会

国際オリエンテーリング連盟 (IOF) の定めるコントロール位置説明は、2004 年版への改正 (ISCD2004) により 1990 年版 (ISCD1990) からいくつかの変更が行われた。JSCD2007 は ISCD2004 に基づいて制定したものである。

日本国内の一部競技において、ISCD1990 と ISCD2004 の混乱した状態が散見されている。今回 JSCD2007 の制定にあたり、ISCD1990 からの主な削除、変更、新規制定の事項を明確にするため、以下に要点を取りまとめた。

1. 記号名や定義等について、日本オリエンテーリング地図図式(JSOM2007)および日本スプリントオリエンテーリング地図図式(JSSOM2007)と整合性を考慮し、運用上の混乱要因を排除した。

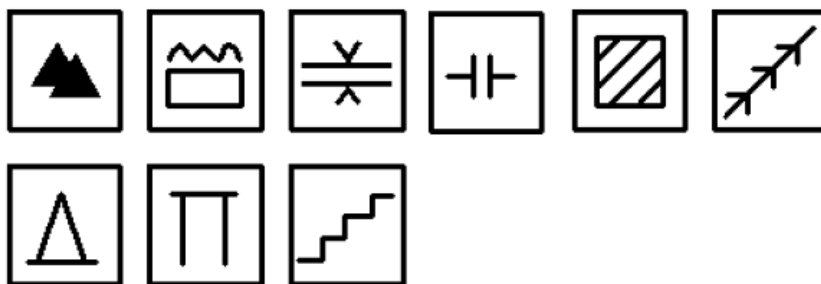
2. JSCD2007(ISCD2004)で削除された記号

尾根、ケルン・石積、小さな湿地、みぞ、荒地、線状の植込み



3. JSCD2007(ISCD2004)で追加された新規記号 (スプリント O 対象を含む)

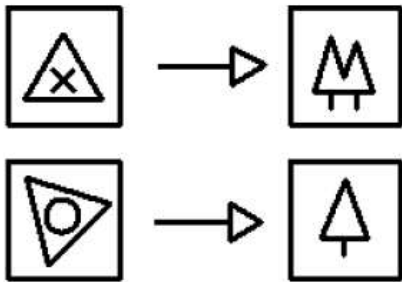
岩石群、貯水槽・水桶、トンネル、横断地点、舗装区域、パイプライン、記念物・彫像、通過できる建物、階段



低い、下



4. 図式変更をした記号、定義変更をした記号
 小さな林、独立樹



(旧) 季節的水路 (新) 細い水路・みぞ



5. 誘導に関する新規記号

コントロール間の誘導



コントロール間に必ず通らなければならない横断地点がある



コントロール間にある立入禁止区域の中に必ず通らなければならない横断部分がある



6. 記号明示位置の変更

「交点」10.1 および「分岐」10.2 の表示をE欄からF欄に変更し、構成する特徴物記号の双方をD欄およびE欄に記入する。

7. 記号表記定義の変更

G欄に「間」11.15 を用いる場合、構成する特徴物記号の双方をD欄およびE欄に記入する。

以 上